

## 災害時の緊急通信について ——「災害時伝言サービスの強化」に関する補足

鬼木 甫  
(株) 情報経済研究所  
2012年9月

本文4.(1)に述べた「災害時伝言サービス」については、2012年9月初にNTTが「ブロードバンド伝言掲示板(BK)」を大幅に改良・拡充させ、同(2)に述べた問題点の一部が解決されました<sup>1</sup>。以下にその概略を説明します。

- (1) 問題点第1は部分的に解決されました(→(3.))。ただし同第2、第3は未解決のままです。
- (2) 問題点第4: 「伝言ダイヤル(D)、ブロードバンド掲示板(BK)でメッセージの保存期間が48時間ですが、短かすぎます。少なくとも1週間から10日ぐらいは必要です。」については、保存期間が6ヶ月に延長され、問題解決しました。
- (3) 問題点(提案)第5「せっかくブロードバンド伝言掲示板(BK)を作るのであれば、電話番号だけでなく氏名と住所等からも検索できることが望ましいのではないのでしょうか。」は、部分的に解決・実現しました。BKと携帯各社のKに保存されているテキスト・メッセージを相互検索できるようになったので、BKにアクセスできれば、テキスト形式の安否情報がK、BKのどこに登録されていても、K、BKのどこからでも検索できるようになりました。また安否確認の対象になる人が通知先の携帯番号を事前登録していれば、BKに入った安否情報(テキスト・メッセージ)が自動通知されます。

---

<sup>1</sup> 新しい名称は「災害時伝言板(web171)」です。同サービスの詳細については、NTT 東日本「災害用伝言板(web171) 概要とご提供のしくみ」  
<<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171s/shikumi.html>>、(社)電気通信事業協会「プレスリリース: 携帯・PHS 災害用伝言板サービスおよびNTT 東西災害用伝言板(web171)における「全社一括検索」の開始について」<[http://www.tca.or.jp/press\\_release/2012/0829\\_525.html](http://www.tca.or.jp/press_release/2012/0829_525.html)>を参照。

- (4) 今回の改良・拡充は強力で、従来の伝言サービスの効力を何倍にも増強したものと考えます。とりわけ「テキスト・メッセージ」による安否確認が一度の検索で済むようになりました。またこれに加え、「事前登録」の導入は、平時から災害に備えておくことにも通じ、大変有用です。今後スマートフォンが普及し、BKの使用者が増大することを考えるとその感を強くします。以下は残された問題についての提案です。
- (5) BKの検索キーは固定電話番号に限ることになっており、携帯番号をキーに使うことを認めていません。したがって、固定電話に加入していない人は、BKへの事前登録も、災害時登録もできません。とくに事前登録の有用性を考えれば残念なことです。BKがNTT（東西）によって運営されていること、つまりBKの費用はNTT（東西）の固定電話加入者が負担していることを考えれば、やむを得ないかもしれません。筆者はこの点について、「固定電話に加入していなくとも（また固定電話から脱退しても）、希望者は『BK専用の固定番号』を少額の実費を支払って申請・入手できる」システムを提案したいと思います。もちろん実際の加入者番号と区別できるように工夫し（たとえば頭部あるいは末尾に“\*\*”を付ける）、もし加入者となった場合は、その番号を（“\*\*”を外して）そのまま使うことにします。また脱退者は、脱退時まで使っていた番号を（“\*\*”を付して）使うことにします。なお加入者と同じく氏名・住所が登録されることとなります。
- (6) 今回のBKの拡充は（テキスト型）メッセージについてのみであり、音声による安否確認（D）との関連についてはほとんどノータッチです。しかし災害時には音声情報も有用なので、（本文で提案した）DからBKに登録されているテキスト・メッセージの「読み上げ」を聴くことができる、Dに入力した音声情報の有無をBK上に表示することができる、などの機能を付け加えることが望まれます。とくに前者は、固定電話に加入しているが携帯もパソコンも使わない人にとって有用ではないでしょうか。

(以上)